

モニタリング結果報告書

施設 真鶴港

指定管理者 真鶴町

施設所管課 県西土木事務所小田原土木センター

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

提案どおりの事業（取組）を行い、利用状況等が良好で収支状況も懸念がない。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	H23. 11. 15	H23. 11. 24	○	×	×	なし	
11月	H23. 12. 13	H23. 12. 21	○	×	×	なし	
12月	H24. 1. 17	H24. 1. 26	○	×	×	なし	
1月	H24. 2. 21	H24. 2. 21	○	×	×	なし	
2月	H24. 3. 14	H24. 3. 26	○	×	×	なし	
3月	H24. 4. 16	H24. 4. 24	○	×	×	なし	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載してください。

<提案内容の概要>

適正で効率的な業務の執行、及び法令に基づく適正で公平な利用承認、並びに利用者の安全管理。

<実施状況>

会計事務、公金の取り扱いの相互チェック体制を確立している。

施設の利用承認については、平等性を確保し、利用状況を把握し、効率的な利用承認を行っている。

<提案内容の概要>

港湾の有効利用の促進をはかるための事業の提案

真鶴港みなとまちづくり協議会の会議を開催、港湾利用者の意見交換により、港湾の有効な利用に係るイベントの開催等を提案した。

<実施状況>

上半期の真鶴港みなとまちづくり協議会によって計画した真鶴町商工まつり、さかなまつりを開催し、ヨットオーナーズクラブの協力によってヨット体験乗船事業を実施することができた。

<提案内容の概要>

事業者及び港湾一般利用者間の利用調整と利用促進並びにモニタリングの実施。

<実施状況>

石材組合、漁業協同組合など異業種事業が混在する真鶴港の特性を踏まえ、調整をはかりつつ有効な港湾利用促進に努めた。

真鶴港みなとまちづくり協議会を通じて、港湾利用関係機関の意見把握に努め、適正な港湾管理に努めた。

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	15,758 (15,758)	15,758 (15,758)	()	()	15,758 (15,758)	0 (0)
下半期 予算額	7,880	7,880			7,880	
10月	0	0			1,313	△1,313
11月	3,939	3,939			1,313	2,626
12月	0	0			1,313	△1,313
1月	0	0			1,313	△1,313
2月	3,941	3,941			1,313	2,628
3月	0	0			1,313	1,313
今年度 半期計	7,880	7,880			7,880	0
前年度 同期計	7,880	7,880			7,880	0

- 1 指定管理者の収入を記載してください（県の収入である「使用料」は含みません。）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載してください。

収支状況に関する意見等

- ① 年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載してください。
- ② 今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載してください。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載してください。
- ③ 今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又はマイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載してください。

<意見等>
該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

10万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載してください。
- 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載してください。
- 修繕等の一覧がある場合は、参考にご提供くださるようお願いします。

	金額	工事箇所・内容
上半期	724,500円	(注意看板設置 262,500円) (照明灯ランプ交換 462,000円)
下半期	1,165,290円	(管理棟倉庫ドア補修 270,690円) (琴ヶ浜車止め補修 119,100円) (管理棟門扉新設、フェンス修理等 775,500円)
総額	1,889,790円	

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載してください。
- 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載してください。
- 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載してください。

5 利用状況

	ヨット出艇数	前年同月数	前年対比増減率
10月	249艇	229艇	8.7%
11月	232艇	235艇	△1.3%
12月	197艇	124艇	58.9%
1月	139艇	67艇	107.5%
2月	74艇	52艇	42.3%
3月	164艇	71艇	131.1%

	目標出艇数	出艇数	前年同月 出艇数	目標対比 増減率	前年対比 増減率
今年度 上半期計	1,350艇	1,522艇	1,289艇	12.7%	18.1%
今年度 下半期計	1,000艇	1,055艇	778艇	5.5%	35.6%

利用状況に関する意見等

- ① 今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載してください(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載してください)。
- ② 目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載してください。
なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ませんが、次回以降は記入してください。

<意見等>

- ① 1～3月の出艇数の対前年増は、好天続きで、観光客対象の遊覧船の運航が順調だったことが要因と思われる。3月については、前年度3月が震災の影響により利用数が減っていたことも要因と思われる。目標数としては、需要の増える夏季を含む上半期に月220程度の出艇数、下半期に月160程度の出艇数をコンスタントに確保することを目標にする。

6 苦情・要望等の状況

受付件数(うち施設所管課受付分)

該当なし

	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
下半期報告						
合計	()	()	()	()	()	()

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載してください。

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載してください。

なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出してください。

該当なし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載してください。 〕

該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載してください。 〕

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ① 港湾施設の効果的な利用について、秋の商工まつり、さかな祭りのなかで、模擬店の出展やヨットの体験乗船を実施することで、来場者に港湾や海に対する理解を深めてもらう機会をもつことができた。今後もよりよい実施方法について、検討していくこととする。 ② ヨット係留施設の利用者であるヨットオーナーズクラブと2ヶ月ごとに意見交換会を開き、施設利用に関する要望を聞いている。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> ① 真鶴港みなとまちづくり協議会の事業を通じて広く真鶴港のPR、周知に努めており、真鶴港利用者とも良い意思疎通が図られている。 ② 「真鶴港の管理に関する基本協定」等諸規定に基づき、利用承認や維持管理協定業務を実施し、適正な管理運営を行っていることが確認できている。